

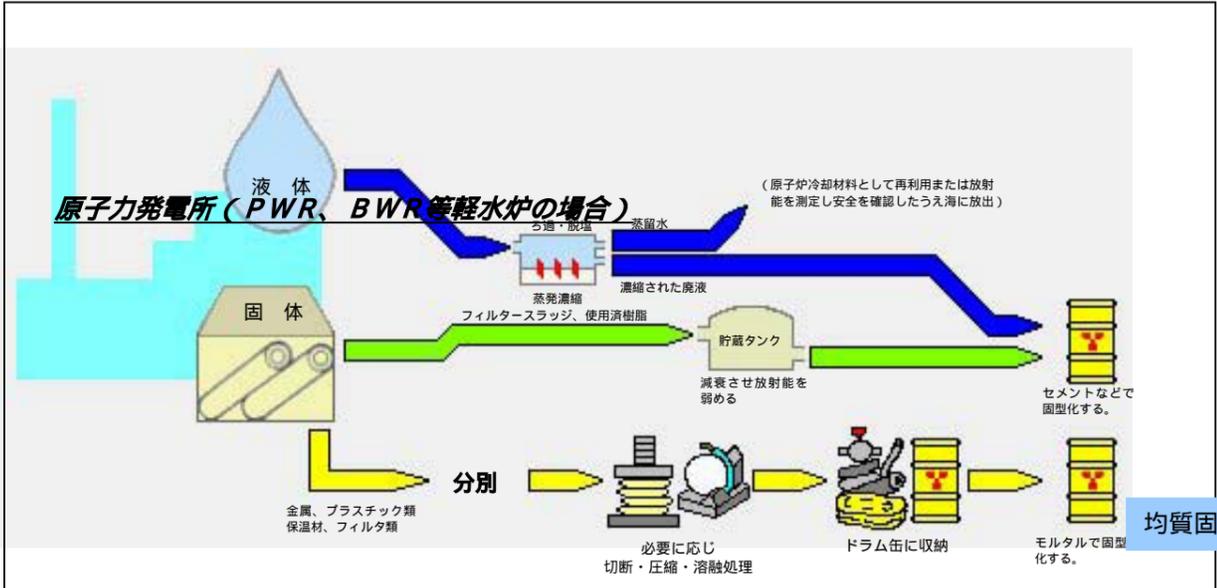
(日本原燃株式会社資料引用)

低レベル放射性廃棄物 (LLW) 搬出の概要

低レベル放射性廃棄物

現在、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターへ受入れる低レベル放射性廃棄物は、原子力発電所の運転に伴い発生する放射線レベルの低い廃棄物をセメントなどで固型化したものを対象としています。

埋設施設に搬出するための処理方法



- 原子力発電所で使用した水などの液体廃棄物は蒸発濃縮処理し、セメントなどで固型化し 充填固化体
- 原子力発電所で使用した水などを浄化するために使用したフィルタースラッジ、イオン交換樹脂は、貯蔵タンクに貯蔵し、放射能を減衰させた後、セメントなどで固型化します。
- 定期点検作業等により発生した金属などの固体状廃棄物は種類ごとに分別し、必要に応じて切断・圧縮処理などを行い、セメント系充てん材(モルタル)で一体となるよう固型化します。



日本原燃(株)六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センター



専用船「青栄丸」で青森県むつ小川原港まで海上輸送します。

均質固化体

～ 1号埋設施設に埋設する廃棄体～

原子力発電所の運転に伴い発生した低レベル放射性廃棄物であって、濃縮廃液、使用済樹脂などをドラム缶にセメント、アスファルト、プラスチックを用いて均質・均一に固型化したものです。

固型化方法例

濃縮された廃液をセメントで固型化したもの



今回輸送対象

充填固化体

～ 2号埋設施設に埋設する廃棄体～

原子力発電所の運転に伴い発生した低レベル放射性廃棄物であって、金属類、プラスチック、保温材、フィルタ類などの固体状廃棄物を分別し、必要に応じて切断・圧縮処理などを行い、ドラム缶に収納した後、セメント系充てん材(モルタル)で一体となるように固型化したものです。

廃棄体概念図



固型化方法例

金属類などを収納し、セメント系充てん材(モルタル)で一体となるよう固型化したもの



(模擬廃棄体)

保温材・フィルタ類などを圧縮し、セメント系充てん材(モルタル)で一体となるよう固型化したもの



(模擬廃棄体)